

2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 アビックス株式会社
 コード番号 7836 URL <http://www.avix.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 045-670-7720

(氏名) 廣田 武仁
 (氏名) 桐原 威憲
 配当支払開始予定日 未定

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	569	11.3	84		90		88	
2019年3月期第3四半期	642	1.7	34		39		35	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 90百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 39百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	3.58	
2019年3月期第3四半期	1.45	

(注) 2019年3月期第3四半期及び2020年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,552	497	31.7
2019年3月期	1,419	568	39.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 491百万円 2019年3月期 560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,119	11.3	35	163.7	27	413.6	28	166.7	1.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	24,724,500 株	2019年3月期	24,550,500 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	株	2019年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	24,699,824 株	2019年3月期3Q	24,504,355 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績見通しとは異なる結果となることを御承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、相次ぐ自然災害や消費増税の影響及び米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題など不安定な国際情勢を受け、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような環境の下、当社は安定的な収益が確保できる体制を強化するため、デジタルサイネージ関連事業において、機器リース・運営部門といった安定収益事業を中心に展開してまいりました。また、デジタルプロモーション株式会社が運営するValue creating事業においても、積極的に拡大展開を図ってまいりました。

これらの結果、売上高569,808千円（前年同期比11.3%減）、営業損失84,282千円（前年同期は34,293千円の営業損失）、経常損失90,216千円（同39,784千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失88,540千円（同35,647千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

また、セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①デジタルサイネージ関連事業

デジタルサイネージ関連事業は3部門あり、機器リース部門は主にデジタルサイネージのリース、運営部門はデジタルサイネージ向けを中心とした販促支援サービス（コンテンツ配信等のソフト面でのサービスやメンテナンスの他、新たな販促支援サービス）の提供、情報機器部門はデジタルサイネージの製造・販売を行っております。

機器リース・運営部門につきましては、長期契約による収益安定事業であることから、今後も安定的な収益が見込めております。

情報機器につきましては、製品の低価格化などにより、デジタルサイネージは幅広い業界に普及しつつあり、市場は拡大傾向にあります。また外部企業との連携もあり、新たな業界からのお問い合わせや案件数は堅調に推移しております。しかしながら、当社の主要顧客であったパチンコホール業界では、ユーザー減少や業界規制の強化の影響を受け、厳しい状況が続いており、投資意欲は、著しく減退しております。

以上の結果、デジタルサイネージ関連事業は、売上高524,005千円（前年同期比14.3%減）、セグメント損失69,772千円（前年同期は12,586千円のセグメント損失）となりました。パチンコホール業界につきましては、今後も同様の傾向が続くと考えられることから、新たな業界への参入を加速させてまいります。

②Value creating事業

デジタルプロモーション株式会社が運営している、Value creating事業につきましては、SNSと大型LED表示機を連動して地域に特化した販促、広告、マーケティングシステムの運営を行っており、当事業を推進するにあたり、SNSサイトを立ち上げる毎に、地域エリアに特化したデータベースやマーケティングが必要になること等により初期段階での投資が先行するビジネス形態となっております。当面は費用が先行する初期投資段階にありますが、地域に密着した新たなコンテンツ等を拡充させており、今後の拡大展開を見込んでおります。

以上の結果、Value creating事業は、売上高45,803千円（前年同期比47.2%増）、セグメント損失14,509千円（前年同期は21,707千円のセグメント損失）となりました。引き続き初期投資段階にあるものの、展開地域数の増加により、セグメント損失の改善がみられました。将来的に当社グループの基幹事業とすべく展開してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、1,552,884千円（前連結会計年度比133,226千円の増加）となりました。その主な要因は、現金及び預金が増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、1,055,629千円（前連結会計年度比204,188千円の増加）となりました。その主な要因は、長期借入金の増加によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、497,254千円（前連結会計年度比70,962千円の減少）となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、現在精査中であり、合理的な予想の数値の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	912,392	1,060,286
受取手形及び売掛金	164,786	136,657
商品及び製品	82,112	105,367
仕掛品	14	1,196
原材料	22,429	34,039
その他	32,215	27,818
貸倒引当金	△137	△100
流動資産合計	1,213,812	1,365,263
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	437	388
工具、器具及び備品（純額）	6,144	9,393
レンタル資産（純額）	65,790	53,105
リース資産（純額）	47,218	58,943
建設仮勘定	23,621	—
有形固定資産合計	143,212	121,831
無形固定資産	10,810	8,486
投資その他の資産	51,822	57,302
固定資産合計	205,845	187,621
資産合計	1,419,658	1,552,884
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,488	24,600
1年内返済予定の長期借入金	265,192	285,396
未払法人税等	3,843	2,728
その他	57,683	60,585
流動負債合計	383,207	373,310
固定負債		
長期借入金	425,850	630,652
その他	42,383	51,666
固定負債合計	468,233	682,318
負債合計	851,440	1,055,629

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,557	574,562
資本剰余金	81,819	91,824
利益剰余金	△87,280	△175,821
株主資本合計	559,095	490,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,496	1,112
その他の包括利益累計額合計	1,496	1,112
新株予約権	1,641	1,641
非支配株主持分	5,983	3,935
純資産合計	568,217	497,254
負債純資産合計	1,419,658	1,552,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	642,666	569,808
売上原価	309,762	272,276
売上総利益	332,903	297,532
販売費及び一般管理費	367,197	381,815
営業損失(△)	△34,293	△84,282
営業外収益		
受取利息	20	11
受取配当金	106	59
保険解約返戻金	—	980
その他	24	67
営業外収益合計	151	1,119
営業外費用		
支払利息	5,513	6,960
その他	128	92
営業外費用合計	5,642	7,053
経常損失(△)	△39,784	△90,216
税金等調整前四半期純損失(△)	△39,784	△90,216
法人税、住民税及び事業税	372	372
法人税等合計	372	372
四半期純損失(△)	△40,156	△90,588
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,509	△2,048
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△35,647	△88,540

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△40,156	△90,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,123	△383
その他の包括利益合計	1,123	△383
四半期包括利益	△39,033	△90,972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,523	△88,924
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,509	△2,048

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月10日付で、第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ10,005千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金は574,562千円、資本剰余金は91,824千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating	
売上高			
外部顧客への売上高	611,552	31,114	642,666
計	611,552	31,114	642,666
セグメント損失(△)	△12,586	△21,707	△34,293

(注) 1 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 セグメント損失(△)には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	524,005	45,803	—	569,808
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,080	—	△1,080	—
計	525,085	45,803	△1,080	569,808
セグメント損失(△)	△69,772	△14,509	—	△84,282

(注) 1 セグメント売上高の調整額△1,080千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3 セグメント損失(△)には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。